学校整理番号(115)

動物管理科　昼間部
動物飼育コース

2年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	ペットフード&用品概論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	1 単位	後期	- 単位		
		通年	- 単位				
担当講師	滝口 準一						
	実務経験	有	大手ペットフード会社で40年以上勤務。年間4000件以上のペットに関する相談の対応。現在もペットフードに関する協会で活躍中。				
授業概要	今日ペットに適正な発育、発達、健康維持、増進に不可欠な栄養素を供給するペットフード。適切に日常の食物としてのペットフードが重要な存在である事を認識し、犬・猫の体の構造、生理、栄養に関する基礎知識、関連法規、製造、保管方法等、ペットフードに関する知識を習得する。					授業形式	講義
到達目標	ペットフードに関する基礎知識を深め、その正しい知識を将来ペットフード販売に携わる際、販売店頭や商談、お客様相談に活かす土台を構築することが出来る。						
教科書・教材・服装等	ペットフード販売士テキスト・復習配布プリント・フードアドバイザープリント						

授業計画	授業内容
1~3	・1.はじめに(学習の展開解説)　2.犬・猫の体の構造と生理: P8～21 1.外形　2.外皮　3.運動器系　4.消化器系について理解する
4~5	・2.犬・猫の体の構造と生理: P22～27 5.呼吸器系　6.内分泌系　7.循環器系　8.生殖器系　9.泌尿器系 10.神経系　11.感覚器系について理解する　・3犬・猫の栄養に関する基礎知識 P28～36 1.犬・猫の食の歴史　2.食事管理　3.栄養素について理解 4.エネルギーとは　5.ライフステージを理解・・1)
6~7	5.ライフステージを理解・・2) P27～46 第 3 週-2　・4ペットフードの関連法規　P48～54　1.ペットフード安全法について　2.ペットフードの　表示に関して
8~10	3.医薬品医療機器等法について　P54、55　4.その他の関連法規にはどのようなものがあるか理解　P56 ・5ペットフードについて:P57～62 1.ペットフードとは　2.ペットフードの種類　3.ペットフードの選び方・使い分け・与え方について知る　・6ペットフードの製造と保管についてP63～681.製造に関する実施基準の理解　2.ドライフードの製造と保管方法
11~12	・6ペットフードの製造と保管についてP69～83　3.ウエットフードの製造と保管方法　4.中間水分製品の製造と保管方法の理解　5.安全なペットフード製造のための衛生管理とは　6.ペットフード安全法に基づく立入検査とは　7.リスク管理について　8.表示基準の理解
13~14	・7店頭や動物病院でのQ&Aについて　P84～98 1.フードの与え方　2.期限表示　3.フードの保管　4.フードの切り替え　5.ペットフードの分類　6.ペットフードの選び方 7.シニア用ペットフードについて　8.病気や体調管理について　9.サプリメントについて 10.原料や品質について 11.誤飲等のトラブルその他相談の応酬話法
15～16	・8ペット飼養の基本マナー:　P98～114　1.ペットの迎い入れ方　2.アニマル・ウエルフェア　3.災害時の対応　4.しつけと行動学　5.予防接種　6.去勢・避妊　7.室内外生活、複数のペット飼育　8.留守番　9.旅行　10.健康維持と病気の早期発見　11.病気に関する知識
17～18	・9エキゾチックアニマル・鳥・観賞魚:　P116～140 1.ウサギ 2.フェレット について知る
19～20	・１０ペット飼養の効果・効用の認識P141～151
21～22	レジメP01～12:■犬・猫の体の構造と生理 ■犬・猫の体の栄養に関する基礎知識
23～24	レジメP25～36:■ペットフードの関連法規 ■ペットフードについて/製造・保管
25～27	・総復習
28	**・ペットフード販売士認定試験 7/17　・4時限目11:50～12:50**

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	ペット健康管理学						必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	-	単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	-	単位				
	2年	前期	-	単位	後期	- 単位		
		通年	1	単位				
担当講師	須郷 貴行							
	実務経験	有	小動物臨床獣医師として犬猫の病気に関する予防、治療、検査等に関して指導が可能で					
授業概要	将来の職場や在学中に担当するペットの異常を早期発見できるように指導する						授業形式	講義
到達目標	異常な状態を判別するために必要な知識、予防医療の知識を覚える							
教科書・教材・服装等	授業内スライド							

授業計画	授業内容
1	健康管理のポイント
2	全身状態のチェック
3	予防１（混合ワクチン、狂犬病ワクチン）
4	予防２（フィラリア予防、ノミダニ予防）
5	検査１（検便、尿検査）
6	検査２（血液検査）
7	検査３（画像検査）
8	検査４（CT検査、細胞診、血圧測定など）
9	犬の病気１
10	犬の病気２
11	猫の病気１
12	猫の病気２
13	前期のまとめ
14	皮膚疾患１
15	皮膚疾患２
16	消化器疾患
17	呼吸器疾患
18	循環器疾患
19	整形、神経疾患
20	内分泌疾患
21	口腔内疾患
22	腎泌尿器疾患
23	眼科疾患
24	若齢動物の注意点
25	老齢動物の注意点
26 ～ 27	人獣共通感染症
28	後期のまとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	ペット業界論					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	- 単位					
	2年	前期	- 単位	後期	- 単位			
		通年	1 単位					
担当講師	祖一 俊介（前期）							
	実務経験	無						
	勝俣 和悦（後期）							
	実務経験	有	協同組合ペット・サービスグループに所属、ペット総合プロデューサーとして数多くのメディアへの出演や講演会等を行う。					
授業概要	（前期）ペット業界の第一線で営業を行っている知識や経験を活かし、ペット業界の時流と正しい知識の習得。また、就職後の必要なビジネススキルや世の中の時流も知ることで視野を広げ活躍できる人財の育成。 （後期）人間社会の縮図(医(衣)・食・住)としてペット産業全体の動きと将来の夢について学んでいく。そして、就職の選択の手助けになる知識を習得する					授業形式	講義	
到達目標	（前期）就職活動はもちろん、就職後に活躍出来る考え方と知識を身につける （後期）医(衣)・食・住に関連する企業動向・マーケティング・将来の産業について業界全体の動向を勉強し、就職に役立つ知識を習得する。情報、企業の動きを国内外の動きと比較して学んでいく							
教科書・教材・服装等	ペットショップ、犬とくらしの大事典、となりの愛犬バカ、その他新聞、雑誌よりコピーを利用							

授業計画	授業内容
1	はじめに　～自己紹介とペット業界論　授業内容や到達目標の共有
2	ペット業界での新規事業～JR東日本、住友不動産、シェラトンホテル
3	ペット業界の鳥瞰図①～ペット業界編
4	ペット業界の鳥瞰図②～ペットショップ編
5	マーケティング理論①～マーケティングの基本的な考え方
6	マーケティング理論②～お店でのSNSの活用方法
7	ペット業界ならではの犬種学①
8	ペット業界ならではの犬種学②
9	ペット業界ならではの猫種学
10	お店のお金の流れ～PL
11	新規事業を考えよう①～新規事業の考え方
12	新規事業を考えよう②～ブレスト
13	新規事業を考えよう③～発表（数名のピックアップにより発表）
14	まとめ
15	学生たちの将来と夢についてトークさせる
16	ペット業界全体の構成内容、マーケット(分野別)について学ぶ
17～18	業界構図について生活全体の流れとそれに携わる産業について学ぶ
19～20	分野別に内容を知る(例：動物病院、看護、美容)産業について知る
21～22	分野別に内容を知る(例：ペットショップ、ブリーダー)産業について知る
23～24	分野別に内容を知る(犬、猫以外の小動物について)産業について知る
25～26	ペット業界の新しい動き(将来の姿について学ぶ)、(人材教育、飼主教育)
27～28	業界全体についてまとめ　レポート提出(テーマに基づいて試験実施)

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・提出物			実技試験
	・平常点（授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	野生動物ゼミ【選択ゼミ(野生動物/水生生物/小動物）】					必修・選択必修の別	必修選択	
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位	
		通年	- 単位					
	2年	前期	- 単位	後期	2 単位			
		通年	- 単位					
	注釈）上記科目を選択した学生のみ対象							
担当講師	宗近 功							
	実務経験	有	上野動物園勤務後、千葉市動物公園を建設、園長に就任、京都大学霊長類共同研究員、東京農業大学非常勤講師を歴任、現在進化生物学研究所勤務。博士号、学芸員資格を取得。					
授業概要	野生動物達の生態・生理を知り、飼養管理に生かす					授業形式	演習	
到達目標	知り得た野生動物の生態、生理を踏まえた飼育法の習得。							
教科書・教材・服装等	動物の世界,　配布資料							
授業計画	授業内容							
1~3	オリエンテーション							
4~9	小動物の飼育管理について動物園でプロの職員から学ぶ							
10~15	動物園で野生動物を飼育する際に与える飼料について学ぶ							
16~21	動物病院で動物園動物の病気と予防について動物園で学ぶ							
22~27	鳥の渡りについて動物園内大池で学ぶ							
28~33	各自テーマを決め、各自で資料を集めて論文にまとめる							
34~36	同上							
37~39	同上							
40~42	まとめた卒論の発表会							
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実技試験		
					○	実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育	
科目名	水生生物ゼミ【選択ゼミ(野生動物/水生生物/小動物）】					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	2 単位		
		通年	- 単位				
	注釈）上記科目を選択した学生のみ対象						
担当講師	清水　健						
	実務経験	有	ペットショップの勤務経験をもとにアクアリウムの基礎的な知識・技術を指導できる				
授業概要	アクアリストに必要な生態や用品などの知識を身に付ける。実際にアクアリウム制作を通じて実践的なスキルを身に付ける。					授業形式	演習
到達目標	アクアリストに関する必要な知識を身に付け技術の向上を目標とする。授業内でアクアリウムの制作・展示をする。						
教科書・教材・服装等	実習着						

授業計画	授業内容
1~3	水槽知識・水槽プロット作り
4~6	用品知識・水槽プロット作り
7~9	用品知識・水槽制作開始
10~12	メンテナンス知識・繁殖計画開始・水槽メンテナンス
13~15	生体取り扱い・生体繁殖・水槽メンテナンス
16~18	水草知識・取り扱い・生体繁殖・水槽メンテナンス
19~21	水草取り扱い・生体繁殖・水槽メンテナンス
22~24	植栽図作り・生体繁殖・水槽メンテナンス
25~27	フード知識・生体繁殖・水槽メンテナンス
28~30	病気について・生体繁殖・水槽メンテナンス
31~33	病気について・生体繁殖・水槽メンテナンス・前半まとめ
34~36	水草トリミング・水槽メンテナンス・生体繁殖
37~39	企業見学
40～42	雌雄判別について・生体繁殖・水槽メンテナンス・ゼミ総括・生体繁殖まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		実技試験
		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	小動物ゼミ【選択ゼミ(野生動物/水生生物/小動物）】					必修・選択必修の別	必修選択
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	2 単位		
		通年	- 単位				
	注釈）上記科目を選択した学生のみ対象						
担当講師	山田　悠暉						
	実務経験	有	ふれあい動物園の勤務経験をもとに、接客や基礎的な知識・技術を指導できる				
授業概要	ペットショップでの職務に必要な生態や用品、法律などの知識を身につける。 実際の仕事内容や接客のポイントなどについて学ぶ					授業形式	演習
到達目標	ペットショップに関する必要な知識をみにつけ、接客技術の向上を目標とする						
教科書・教材・服装等	実習着						

授業計画	授業内容
1~3	オリエンテーション
4~6	哺乳類フード知識
7~9	哺乳類用品知識／接客練習
10~12	鳥類フード知識
13~15	鳥類用品知識／接客練習
16~18	爬虫類フード知識
19~21	爬虫類用品知識
22~24	爬虫類用品知識／接客練習
25~27	接客販売知識
28~30	猛禽類の扱い方・餌の処理
31~33	小動物ケージレイアウト①
34~36	小動物ケージレイアウト②
37~39	ペットショップ見学
40~42	接客知識

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%・平常点 優れている
	B評価	出席率80%以上・平常点 普通
	C評価	出席率80%以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	テーマパーク演習＆ペットパティシエ（テーマパーク演習）					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	10 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	- 単位		
		通年	10 単位				
担当講師	テーマパーク（東京ドイツ村・市原ぞうの国）						
	実務経験	有	テーマパークにおいて実際に勤務している飼育員等が講師を担当				
	注記：前後期でクラスを入れ替え						
授業概要	本校で飼育していない動物の飼育方法や扱い方を学び、知識や技術を身に付ける 本校の獣舎で飼育していない動物の扱いや餌の管理法、園内美化作業、 テーマパークでの接客と動き方、日常のルーティンについて学ぶ					授業形式	演習
到達目標	様々な動物の飼育方法や扱い方や、職務に対する意識と接客技術を身に着ける						
教科書・教材・服装等	【持ち物】ノート・筆記用具 【服装】実習着・長靴・帽子・着替え用Tシャツ						

授業計画	授業内容
	以下、テーマパーク演習
1~6	オリエンテーション　テーマパークでの接客について
7~12	テーマパーク接客について　事例研究　グループディスカッション
13~18	外部実習：実習施設見学
19~24	外部実習①/A：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）B:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
25~30	外部実習②/A：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）B:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
31~36	外部実習③/A：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）B:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
37~42	外部実習④/A：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）B:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
43~48	レポート作成、企画案作成
49~54	外部実習①/B：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）A:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
55~60	外部実習②/B：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）A:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
61~66	外部実習③/B：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）A:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
67~72	外部実習④/B：東京ドイツ村（動物園orわんちゃんランド）A:市原ぞうの国（ぞうの国orサユリワールド）
73~78	レポート作成、企画案作成　企画プレゼン発表
	以下、ペットパティシエ
1~2	ペットのための食育①　『よくある質問』
3~6	調理実習　：　ササミジャーキー
7~8	ペットのための食育②　『ペットフードの選び方（初級編）』
9~12	調理実習　：　セサミクラッカー
13~14	ペットのための食育③　『ペットフードの中身について（初級編）』
15~18	調理実習　：　ブルーベリーカップケーキ
19~20	ペットのための食育④　『ドッグフードの歴史』
21~24	調理実習　：　ベジチーズスティック
25~26	ペットのための食育⑤　『食事の多様性』
27~30	調理実習　：　ポテトスティック
31~32	ペットのための食育⑥　『酵素の力』
33~36	調理実習　：　三色ボーロ
37~38	ペットのための食育⑦　『危険な油が病気を起こしている』
39~42	調理実習　：　豆腐だんご

43~44	ペットのための食育⑧　『牛乳とカルシウム』
45~48	調理実習　：　トッピング各種
49~50	ペットのための食育⑨　『ビタミンCについて』
51~54	調理実習　：　手作り犬ごはん１
55~56	ペットのための食育⑩　『オプティマルヘルスの維持と免疫力』
57~60	調理実習　：　手作り犬ごはん２
61~62	ペットのための食育　まとめ
63~66	調理実習　：　リングドーナツ
67~72	調理実習　：　ロールケーキもしくはデコレーションケーキ
73~75	班ごとにオリジナルレシピ作成
76~84	調理実習　：　班ごとのオリジナルレシピ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・平常点 優れている
	B評価	出席率85~99％以上・平常点
	C評価	出席率70~85％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	ペット栄養管理士					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位	
		通年	- 単位					
	2年	前期	- 単位	後期	3 単位			
		通年	- 単位					
担当講師	滝口 準一							
	実務経験	有	大手ペットフード会社で40年以上勤務。年間4000件以上のペットに関する相談の対応。現在もペットフードに関する協会で活躍中。					
授業概要	正しいペット栄養学の知識を深めることは、ペットの健康維持向上と動物の愛護に寄与する基本であります。①ペットフードの総論、②ペット基礎栄養学、③ペット臨床栄養学を通して、ペットの栄養に関する知識の普及と指導実践者として活躍出来る知識を習得する。					授業形式	演習	
到達目標	ペットの栄養学を①②③を通して理解し、ペットの食に関する知識を深め、最良、最善の食餌がペットの健康維持と向上に繋がる事の知識を基に、将来動物飼育管理に係わる仕事に従事する際、最善の食餌管理についての注意や飼い主への指導助言に活かす基礎を構築することができる。							
教科書・教材・服装等	ペット栄養管理学要約テキスト							

授業計画	授業内容
1~3	・A-01ペットフードに使用される主な原料　・A-02ペットフードの添加物について学習する　・復習問題
4～6	・A-03栄養素の栄養と吸収　・A-04兎の食事と病気　・ 復習問題
7～9	・A-05異常行動と栄養管理について学習する ・A-06イヌとネコの肥満　・復習問題
10～15	・A-07アレルギー性疾患 ・A-08歯科疾患と食事について学習する ・ **小試験**
16～18	・A-09術後の栄養管理　・B-01ペットとペットフード市場 ・B-02ペットフードの各種動物試験法について学習する　・復習問題
19～21	・B-03三大栄養素とその役割　・B-04ミネラル代謝　・B-05ネコのライフステージと栄養について学習する ・復習問題
22～24	・B-06肝臓疾患の栄養管理　・B-07共通感染症　・B-08消化器疾患と栄養について学習する
25～27	・B-09慢性腎臓病の病態と食事療法　・B-10腸炎について学習する ・復習問題　・工場見学ビデオ
28～30	・C-01ペットフードに関わる諸法令とペットフードの表示(パッケージについて) ・C-02ペットフードの種類と加工について学習する　・復習問題
31～33	・C-03ビタミンについて　・C-04イヌとネコの食性 について学習する ・C-03イヌのライフステージと栄養 ・復習問題
34～36	・C-04イヌとネコの食性 について学習する　・C-04イヌのライフステージと栄養・復習問題
37～39	・C-04イヌとネコの食性 について学習する　・C-05イヌのライフステージと栄養・復習問題
40～42	・C-06慢性心臓病の食事療法　・C-07尿石症の食事療法 ・C-08がん患者に対する栄養学的アプローチについて学習する　・復習問題 ・C-09糖尿病動物の栄養管理 ・C-10三大栄養素とその役割-機能について学習する　小試験
43~45	・総まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・小テスト60点以上・課題提出
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	動物演習２						必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	-	単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	7 単位
		通年	-	単位				
	2年	前期	-	単位	後期	- 単位		
		通年	7	単位				
担当講師	平方 亜美							
	実務経験	有	ペットショップの勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる					
授業概要	犬のブリーディングをはじめ、様々な動物の臨機応変な扱い方を学び、動物の投薬・点眼やトレーニング方法を学ぶ						授業形式	演習
到達目標	就職に向けて、様々な職種に臨機応変に対応できるような技術が身につく							
教科書・教材・服装等	実習着・スニーカー・筆記用具・ノート							

授業計画	授業内容
1~2	命の大切さについて・繁殖の基本・繁殖してはいけないケースについて
3～5	小動物ケア
6～7	繁殖の目的・種雄選び・交配に適した時期と年齢、適さない色素と毛色
8～10	小動物ケア
11～12	交配相手との取り決め・メス犬の健康チェック・発情周期4つの時期の特徴
13～15	フェレット社会化・トリクリッピング・小動物慣らし
16～17	適期を知る方法・交配準備・犬の妊娠期間
18～20	生態調査
21～22	実際の交配の映像鑑賞・妊娠の兆候確認・補助の必要性
23～25	ウサギの雌雄判別について・トリトレーニング
26～27	出産までに準備するべきこと・交配～出産までの一連の流れ
28～30	モルモットの雌雄判別について・トリトレーニング
31～32	自然分娩の流れ・難産と分娩の違い
33～35	ハリネズミ・デグー・モモンガの雌雄判別について・トリトレーニング
36～37	母体の異常（トラブル）・自然分娩の助産方法
38～40	フェレット・チンチラの雌雄判別について・トリトレーニング
41～42	蘇生方法・出産直後の子犬の管理・出産直後の母犬の管理
43～45	ネズミ・ハムスターの雌雄判別について・トリトレーニング
46～47	新生児の管理方法・人工哺乳
48～50	フェレット・その他の投薬・点眼について・トリトレーニング
51～52	子犬の発達について・子犬の感染症
53～55	講師候補日
56～57	離乳食、健康チェック・社会化について、ワクチンプログラム・社会化について
58～60	モルモットの投薬・点眼について・トリトレーニング
61～62	自習・試験
63～65	ハムスター、ウサギの投薬・点眼について・トリトレーニング
66～68	小動物ケア
69～71	小動物ケア
72～74	小動物トレーニングについて
75～77	小動物トレーニングについて
78～80	小動物トレーニングについて
81～83	小動物トレーニングについて
84～86	小動物トレーニングについて
87～89	小動物トレーニングについて
90～92	講師候補日
93～95	小動物トレーニングについて
96～98	小動物トレーニングについて
99～101	小動物トレーニングについて
102～104	小動物トレーニングについて
105～107	小動物トレーニングについて
108～110	小動物トレーニング発表

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
	・授業内テスト		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100～90％・平常点 優れている
	B評価	出席率89～70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率69～50％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	動物飼育コース
科目名	動物管理実習２	必修・選択必修の別	必修

実施期								
1年	前期	-	単位	後期	-	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6 単位
	通年	-	単位					
2年	前期	-	単位	後期	-	単位		
	通年	6	単位					

担当講師	蟻川　晃司		
	実務経験	有	臨床獣医師を20年以上務めている

授業概要	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類の病気の知識を身に付ける	授業形式	実習
到達目標	動物の病気や繁殖の知識を身につけ、いち早く動物の異常に気づけるようになる		
教科書・教材・服装等	実習着・スニーカー・筆記用具・ノート・エキゾチックアニマル哺乳類編・エキゾチックアニマル鳥類編・エキゾチックアニマル爬虫類 両生類編		

授業計画	授業内容
1~6	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫①/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
7~12	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫②/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
13~18	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫③/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
19~24	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫④/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
25~30	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑤/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
31~36	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑥/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
37~42	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑦/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
43~48	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑧/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
49~54	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑨/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
55~60	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑩/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
61~66	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑪/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
67~72	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑫/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
73~78	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑬/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
79~84	脊椎動物の比較解剖と生理、病原体と寄生虫⑭/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
85~90	テスト/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
91~96	テスト返却・解説/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
97~102	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒①/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
103~108	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒②/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
109~114	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒③/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
115~120	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒④/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
121~126	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑤/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
127~132	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑥/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
133~138	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑦/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
139~144	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑧/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
145~150	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑨/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
151~156	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑩/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
157~162	主なペットとなる脊椎動物の疾病、人獣共通感染症、中毒⑪/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健
163~168	テスト/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
169～174	テスト返却・解説/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
175～180	総括/鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック

成績評価方法		定期試験	
	・出席率		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		実技試験
	・小テストの点数	○	実施しない

成績評価基準		
	A評価	出席率100～90％・平常点 優れている
	B評価	出席率89～70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率69～50％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	グルーミング実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	2 単位	後期	- 単位		
		通年	- 単位				
担当講師	山田 梨織/勝田 彩水/高橋 桜華/髙野 咲菜						
	実務経験	有	トリミングサロンでの実務経験を活かし、実際の現場で必要になる知識や技術を指導することができる。JKC公認トリマーライセンス所持。				
授業概要	・犬種別の基本的なグルーミングの確認・練習 ・シザーの持ち方、使い方を学ぶ ・グルーミングにおいて必要な病気・ケガ等の知識習得					授業形式	実習
到達目標	グルーミングの知識を身に着ける ２時間以内でグルーミングを行う						
教科書・教材・服装等	グルーミング道具一式・ユニフォーム						
授業計画	授業内容						
1~6	自己紹介・グルーミング道具一式の確認・道具の管理方法・犬種記号						
7~12	爪切りと耳掃除道具の扱い方と注意点・グルーミング実習						
13~18	シャンプーの種類と洗い方とブローの仕方・グルーミング実習						
19~24	プードル・シーズー・シュナウザーのグルーミング実習						
25~30	プードル・シーズー・シュナウザーのグルーミング実習						
31~36	プードル・シーズー・シュナウザーのグルーミング実習						
37~42	多犬種のグルーミング実習						
43~48	多犬種のグルーミング実習						
49~66	多犬種のグルーミング実習						
67~78	小型犬から大型犬のグルーミング実習						
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験	
	・平常点（授業意欲、態度など）					実技試験	
	・技術習得度				○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・技術レベル上位1/3					
	B評価	出席率70%～89%以上・平常点 普通・技術レベル 2/3					
	C評価	出席率50%～69%以上・平常点 やや劣る・技術レベル 下位1/3					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	グルーミング【選択実習(グルーミング/乗馬トレーニング）】					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	2 単位		
		通年	- 単位				
担当講師	山田 梨織/勝田 彩水/高橋 桜華/髙野 咲菜						
	実務経験	有	トリミングサロンでの実務経験を活かし、実際の現場で必要になる知識や技術を指導することができる。JKC公認トリマーライセンス所持。				
授業概要	・犬種別の基本的なグルーミングの確認・練習 ・基礎的なシザーワークとクリッパーを学ぶ ・グルーミングにおいて必要な知識を習得 ・PD以外でのグルーミング実習					授業形式	実習
到達目標	グルーミングの知識を身に着ける ２時間以内でグルーミングを行う						
教科書・教材・服装等	グルーミング道具一式・ユニフォーム						

授業計画	授業内容
1~6	前期グルーミング実習の復習
7~12	小型犬から大型犬のグルーミング実習
13~18	小型犬から大型犬のグルーミング実習
19~24	小型犬から大型犬のグルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。
25~30	小型犬から大型犬のグルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。
31~36	小型犬から大型犬のグルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。
37~42	小型犬から大型犬のグルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。
43～48	グルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。
49～78	グルーミング実習。シザーワーク・クリッパーの実践。

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（授業意欲、態度など）			実技試験
	・技術習得度		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・技術レベル上位1/3
	B評価	出席率70%～89%以上・平常点 普通・技術レベル 2/3
	C評価	出席率50%～69%以上・平常点 やや劣る・技術レベル 下位1/3
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース		
科目名	乗馬トレーニング【選択実習(グルーミング/乗馬トレーニング）】					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位	
		通年	- 単位					
	2年	前期	- 単位	後期	2 単位			
		通年	- 単位					
担当講師	千葉千尋							
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。					
授業概要	大動物である馬とふれあい、馬の性質、特徴を知り、日常のケアやその取扱いを学び、安全にコミュニケーションを深める。 ※屋外での実習のため、天候によって内容を変更する場合有り					授業形式	実習	
到達目標	大型動物である馬との正しい関わり方を理解し実施することができる。							
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING （服装について：動きやすく汚れてもよい服装 ※半ズボン、スカート、サンダル不可）							
授業計画	授業内容							
1~6	厩舎の清掃 飼料桶・水桶の洗浄。飼料・水の給餌(以下、厩務作業とする) 安全に厩務作業をするための注意事項を学ぶ。							
7~12	厩務作業。馬の性質や習性を理解する。 騎乗：乗馬・下馬の方法。常歩での馬上体操。							
13~18	厩務作業。馬を引いて歩く方法。 騎乗：手綱の持ち方。馬の動きを理解する。停止及び常歩で行進。							
19~24	厩務作業。馬体ケアの方法を学ぶ。 騎乗：手綱の操作、馬への扶助について学ぶ。正しい姿勢とバランスを理解する。							
25~30	厩務作業。馬装・馬装解除の実習。 騎乗：常歩での回転動作について。速歩体験（助手つきにて）。軽速歩のとり方。							
31~36	厩務作業。馬の放牧、及び放牧後の馬体ケア①。 騎乗：馬上でのリラックス。速歩の発進と軽速歩の理解。							
37~42	厩務作業。馬の放牧、及び放牧後の馬体ケア②。 騎乗：常歩、速歩、停止への移行について理解する。馬上でのバランスの確立。							
43~48	厩務作業。馬具の種類や用途の理解。 騎乗：小区画の中での部班運動。（２～３頭の馬場内でコントロール）							
49~54	厩務作業。環境整備など。 騎乗：号令の理解と図形運動。（部班）							
55~60	厩務作業。馬衣の脱着方法。 騎乗：軽速歩でのリズムとバランスの確立。（部班）							
61~66	厩務作業。乗馬施設のメンテナンスについて。 騎乗：軽速歩での蹄跡行進。（部班）							
67~72	厩務作業。馬具（革製品）の手入れ方法。 野外騎乗散策①（※天候によって変更有り）							
73~78	厩務作業。 野外騎乗散策②（※天候によって変更有り）							
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実技試験		
					○	実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率100％・平常点 優れている						
	B評価	出席率99～90％以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～80％以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	業界インターンシップ					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	5 単位		
		通年	- 単位				
担当講師	各企業様						
	実務経験	有	各企業現場指導者様				
授業概要	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。					授業形式	実習
到達目標	動物関連企業等で実践業務を学び、知識の向上を図る。						
教科書・教材・服装等	無し						
授業計画	授業内容						
1～150	各企業での施設の見学、各企業の接客ルールやマナーの習得						
	店舗での実践的な実習。						
	３つの企業をそれぞれ７日間程度インターンシップを行う。						
成績評価方法	・企業担当者による勤務・業務管理を実習手帳上で行う			定期試験		筆記試験	
	・レポート提出					実技試験	
					○	実施しない	
成績評価基準	R評価	100時間以上のインターンシップ実績があること。実習手帳、レポートを提出した者					
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合					

2024就職ガイドシラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	就職ガイド２					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	- 単位					
	2年	前期	1 単位	後期	- 単位			
		通年	- 単位					
担当講師	鈴木 友子							
	実務経験	無						
授業概要	動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。					授業形式	講義	
到達目標	自己分析と企業研究を行い、全員が内定を頂ける様にしていく事を目標とする。							
教科書・教材・服装等	無し							
授業計画	授業内容							
1	就職室の紹介/就職活動に向けて（内定スケジュール）							
2	履歴書の復習(自己PR・志望動機)・採用試験の流れ・夏季ISについて							
3	メールの送り方							
4	企業説明会①							
5	企業説明会②							
6	求人情報の紹介							
7	IS事前準備①							
8	ISを依頼する際の電話の掛け方・ロールプレイング							
9	面接対策							
10	IS事前準備②（実施確認書と注意点）							
11	夏休み中の就活の取り組み方							
12	お礼状・送付状の作り方							
13～14	IS心構えとフィールドワーク・レポート提出							
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験		
	・期末レポート提出					実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				○	実施しない		
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている						
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 単位	後期	- 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	- 単位				
	2年	前期	- 単位	後期	- 単位		
		通年	1 単位				
担当講師	鈴木 友子						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	2年次の学校生活について①
2~3	学校行事についてのディスカッション①
4~5	学校行事についてのディスカッション②
6~7	学校行事についてのディスカッション③
8~9	学校行事についてのディスカッション④
10~11	学校行事についてのディスカッション⑤
12~13	学校行事についてのディスカッション⑥
14~15	学校行事についてのディスカッション⑦
16~17	学校行事についてのディスカッション⑧
18~19	学校行事についてのディスカッション⑨
20~21	学校行事についてのディスカッション⑩
22~23	学校行事についてのディスカッション⑪
24~25	学校行事についてのディスカッション⑫
26~28	学校行事についてのディスカッション⑬

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合